

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		著作権	
科目名	著作権	担当教員名	内藤 菜穂子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	著作権身近に捉え、今後関わってくる事例を自ら考えられるようにする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 演奏活動している教員が今までにあった著作権に関する問題や判例を紹介しながら講義を進める。		
【実務経験】 2015年より合唱団の伴奏者			
回数	授業形態	内容	
1	講義	音楽著作権の必要性・知的所有権	
2	講義	音楽著作権法・著作権の権利	
3	講義	著作隣接権	
4	講義	著作権・著作隣接権の保護期間・再販制度・レンタル禁止期間	
5	講義	著作権の管理・JASRAC	
6	講義	著作権条約・著作権ができるまでの歴史・輸入権問題・テスト前復習	
7	講義	中間テストと振り返り	
8	講義	中間テスト返却・著作権利用形態(演奏権、複製権、貸与権)・著作権使用料の計算/実際にJASRACへの申請用紙を確認する	
9	講義	インターネットと音楽	
10	講義	音楽出版社	
11	講義	音楽配信/Youtube・ファイル共有ソフト/Winny	
12	講義	プロダクション・専属作家制度と著作権・楽曲のプロモート体制	
13	講義	著作権侵害・著作権の制限・テスト前復習	
14	講義	期末テストと振り返り	
15	講義	期末テスト返却・DVD鑑賞と振り返り	
準備学習 時間外学習	授業内配布プリントを失くさないよう、各自保管する。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	筆記試験100%	
教材	教科書	音楽著作権 (吉村 保 著) /株タマエンタープライズ	
	参考書		
学生への メッセージ	「著作権」と聞くと難しく思えてしまいますが、意外と身近にたくさん話題があります。どのように対処していけば良いのか知っていて損しない知識をお伝えします!!!		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		デジタルファンデーション		
科目名	デジタルファンデーション I	担当教員名	新子 広美.	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	映像・音源の編集技術を学び、自身のプロモーションツールとしての使用、プロダクトでの使用を目的に音源作品、映像作品が制作できるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する音源の編集ソフト、映像編集ソフトの使用方法を基礎から学びます。			
【実務経験】	20年以上高等教育機関で情報教育に携わる、情報リテラシー・統計処理（データマイニング）の講座を担当、都市情報学 修士			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ITリテラシー		
2	演習	SNS使用方法について		
3	演習	音源編集ソフトの基礎使用方法①		
4	演習	音源編集ソフトの基礎使用方法②		
5	演習	音源編集ソフトの基礎使用方法③		
6	演習	音源編集ソフトの基礎使用方法④		
7	演習	映像編集ソフトの基礎使用方法①		
8	演習	映像編集ソフトの基礎使用方法②		
9	演習	映像編集ソフトの基礎使用方法③		
10	演習	映像編集ソフトの基礎使用方法④		
11	演習	作品制作 音源		
12	演習	作品制作 映像		
13	演習	作品制作 映像と音源		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験50% 課題50%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		デジタルファンデーション	
科目名	デジタルファンデーションII	担当教員名	新子 広美.
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	映像・音源の編集技術を学び、自身のプロモーションツールとしての使用、プロダクトでの使用を目的に音源作品、映像作品が制作できるようになる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する音源の編集ソフト、映像編集ソフトの使用方法を基礎から学びます。		
【実務経験】	20年以上高等教育機関で情報教育に携わる。情報リテラシー・統計処理（データマイニング）の講座を担当。都市情報学 修士		
回数	授業形態	内容	
1	演習	プロフィール制作①	
2	演習	プロフィール制作②	
3	演習	プロフィール制作③	
4	演習	プロフィール制作④	
5	演習	映像作品制作①	
6	演習	映像作品制作②	
7	演習	映像作品制作③	
8	演習	映像作品制作④	
9	演習	映像作品制作⑤	
10	演習	映像作品制作⑥	
11	演習	映像作品制作⑦	
12	演習	映像作品制作⑧	
13	演習	映像作品制作⑨	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験50% 課題50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツヒストリー	
科目名	パフォーミングアーツヒストリー I	担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	パフォーミングアーツの歴史を学び、正しい理解のもと表現者として あるいはディレクター・マネージャーとしてエンターテイメント業界で働く為に必要な知識を身につける。		
授業の内容	パフォーミングアーツの歴史として舞台舞踊史を学ぶ。		
【実務経験】	USJにてエンターテイナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。		
回数	授業形態	内容	
1	講義	歴史を学ぶということ～イントロダクション～	
2	講義	日本の演劇の歴史①	
3	講義	日本の演劇の歴史②	
4	講義	日本の演劇の歴史③	
5	講義	日本の演劇の歴史④	
6	講義	日本の演劇の歴史⑤	
7	講義	日本の演劇の歴史⑥	
8	講義	世界の演劇の歴史①	
9	講義	世界の演劇の歴史②	
10	講義	世界の演劇の歴史③	
11	講義	世界の演劇の歴史④	
12	講義	世界の演劇の歴史⑤	
13	講義	世界の演劇の歴史⑥	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	筆記試験50% 課題50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツヒストリー	
科目名	パフォーミングアーツヒストリーII	担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	パフォーミングアーツの歴史を学び、正しい理解のもと表現者として あるいはディレクター・マネージャーとしてエンターテイメント業界で働く為に必要な知識を身につける。		
授業の内容	パフォーミングアーツの歴史として舞台舞踊史を学ぶ。		
【実務経験】	USJにてエンターテイナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。		
回数	授業形態	内容	
1	講義	ダンスの始まり	
2	講義	ワールドダンス	
3	講義	バレエの歴史	
4	講義	ジャズダンスの歴史①	
5	講義	ジャズダンスの歴史②	
6	講義	モダンダンスの歴史①	
7	講義	モダンダンスの歴史②	
8	講義	ストリートダンスの歴史①	
9	講義	ストリートダンスの歴史②	
10	講義	ストリートダンスの歴史③	
11	講義	ミュージカルの歴史	
12	講義	コンテンポラリーダンスの歴史	
13	講義	これからのダンスについて	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	筆記試験50% 課題50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	HIPHOPIII	担当教員名	konitan	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	プロダンサーになる為の個性を引き出す			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する振付をメインに振り覚えの能力を上げていく。			
【実務経験】ユニバーサル・スタジオジャパン・SPECTA光のライトショー・TRUE SKOOL 優勝				
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション		
2	演習	HIPHOP応用・振付1		
3	演習	HIPHOP応用・振付1のつづき		
4	演習	HIPHOP応用・振付1のつづき		
5	演習	HIPHOP応用・振付2		
6	演習	HIPHOP応用・振付2のつづき		
7	演習	HIPHOP応用・振付2のつづき		
8	演習	HIPHOP応用・振付3		
9	演習	HIPHOP応用・振付3のつづき		
10	演習	HIPHOP応用・振付3のつづき		
11	演習	試験に向けての復習		
12	演習	試験内容の練習		
13	演習	試験と振り返り		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	心身ともに強くなるために自分と向き合しましょう			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	HIPHOPIV	担当教員名	konitan	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	プロダンサーになる為の個性を引き出す			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する HIPHOPの軸となるリズムを中心とした基礎、また技術のみならず、メンタル面においてのトレーニングで心技ともに磨く			
【実務経験】ユニバーサル・スタジオジャパン・SPECTA光のライトショー・TRUE SKOOL 優勝				
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション		
2	演習	HIPHOP応用・振付1		
3	演習	HIPHOP応用・振付1のつづき		
4	演習	HIPHOP応用・振付1のつづき		
5	演習	HIPHOP応用・振付2		
6	演習	HIPHOP応用・振付2のつづき		
7	演習	HIPHOP応用・振付2のつづき		
8	演習	HIPHOP応用・振付3		
9	演習	HIPHOP応用・振付3のつづき		
10	演習	HIPHOP応用・振付3のつづき		
11	演習	試験に向けての復習		
12	演習	試験内容の練習		
13	演習	試験と振り返り		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	心身ともに強くなるために自分と向き合しましょう			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	照明デザイン	担当教員名	吉岡 誠一
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
<p>様々な機材の特性を活かし、催事の内容を理解しデザイン出来るようになる。 オペレーションに関する知識を習得する。</p>			
授業の内容			
<p>前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います</p>			
<p>【実務経験】 関東電機株式会社（現ハートス）入社。ホテル業務、舞台業務（宝塚歌劇団、劇団四季）ファッションショー、コンサート、ダンス、イベント等照明プラン担当。2018年8月退職。8月(株)ザ・シンフォニーホール勤務。チーフエンジニア（照明業務）担当。主なプラン：市民創作函館野外劇、高岡野外音楽劇「越中万葉夢幻譚」、シャ</p>			
回数	授業形態	内容	
1	演習	照明ガイダンス	
2	演習	LED SPOT MAC Aura の基本的なプログラム	
3	演習	LED SPOT DL-4X の基本的なプログラム	
4	演習	LED SPOT オペレーションプログラム シェイプジェネレーター他	
5	演習	機材の仕込みに依るデザインの考え方 PART.1	
6	演習	機材の仕込みに依るデザインの考え方 PART.2	
7	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.1 Vo.Gt.Ba.Dr	
8	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.2 Vo.Gt.Ba.Dr	
9	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.3 Vo.Gt.Ba.Dr	
10	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.4 Vo.Gt.Ba.Dr	
11	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.5 Vo.Gt.Ba.Dr	
12	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.6 弾き語り	
13	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.7 弾き語り	
14	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.7 弾き語り	
15	演習	BAND、音楽系のデザインの考え方 PART.7 弾き語り	
準備学習 時間外学習	毎授業自分で目標、テーマを持って授業に参加しましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験 100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	催事の内容に依る機材の選択、仕込み、デザインの考え方を習得する為の科目です。校内、外部にて催事に対するデザインの考え方をマスターし、色々とチャレンジして下さい。		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション		
科目名	PAワークショップ	担当教員名	上林 隆	
時間数	180	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
リーダーシップを発揮し計画性を持って技術力 人間的に尊敬され、知識や現場で視野の広いプロフェッショナルなサウンドエンジニア、オーディオエンジニアを目標に！！そして非常に大切なことですが周りに気配りでき安全面に注意ができるサウンドマンになることができます。				
授業の内容				
今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います。いろいろな問題点や疑問点が出た場合はミュージシャンや照明とコミュニケーションとりその場で解決します。				
【実務経験】 大阪音研入社、少年隊 光GENJI COCO 森口博子 中山美穂 GONTITI アニーなどを パナソニック HONDA MSなどの企業を担当。退社後スターテックへSPEED 宇多田ヒカル 安室奈美恵 宇都宮隆 ケイコ・リー apBANKのオペを担当。劇団四季 東宝ミュージカルにも参加				
日程	授業形態	内容		
1	演習	1年度の復習編からLS-1のシステムについて/コラボレーションを理解する Vo.1		
2	演習	1年度の復習編からLS-1のシステムについて/コラボレーションを理解する Vo.2		
3	演習	プランニングからの流れ(仕込み～チェック～バラシ)を理解する Vo.1		
4	演習	プランニングからの流れ(仕込み～チェック～バラシ)を理解する Vo.2		
5	演習	LS-1 FOH (Vertec VT4888) のレベル設定してチューニングができる(周波数帯域) Vo.1		
6	演習	LS-1 FOH (Vertec VT4888) のレベル設定してチューニングができる(周波数帯域) Vo.2		
7	演習	モニターシステムのレベル設定からチューニングへの方法(ハウリングマージン) Vo.1		
8	演習	モニターシステムのレベル設定からチューニングへの方法(ハウリングマージン) Vo.2		
9	演習	マイクروفオン/楽器や音楽ジャンルによるマイク選定をしアレンジをする(それぞれのEQ) Vo.1		
10	演習	マイクروفオン/楽器や音楽ジャンルによるマイク選定をしアレンジをする(それぞれのEQ) Vo.2		
11	演習	デジタルシステムについて Profile / Lake / Smaartなどを理解する Vo.1		
12	演習	デジタルシステムについて Profile / Lake / Smaartなどを理解する Vo.2		
13	演習	前期の総括/プランから仕込みそして本番を迎えてのバラシまでができるようになる		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	明日への扉、PAベーシックそれぞれを大切にワークショップに生かしてもらいたです。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験80% 課題20%		
教材	教科書			
	参考書	iPad(YouTube) で楽器のEQなどを予習、いろいろなジャンルの音楽を聞く。		
学生への メッセージ	音響における基礎からの授業です。とにかく出席を、そしてまずはできるかぎり機材を操作してください。全てはそこから始まります！！ 授業に参加してもらったミュージシャンやダンサーなど(出演者)はもちろん照明チームとも、どんどんコミュニケーションを取りましょう。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	PRO TOOLS II	担当教員名	福岡直子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	2年次
教室		教室	
授業の到達目標			
Pro Toolsの基本操作をもとに、周辺機器のセットアップ、トラブルシューティング、データ管理のスキルアップ			
授業の内容			
前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います			
【実務経験】2000年大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、VISTA STUDIOに2年勤務、2002年からアルケミースタジオに所属。 サウンドエンジニアとして様々なアーティストのレコーディング、ミックス、マスタリングを手掛ける			
回数	授業形態	内容	
1	演習	ファイル管理(階層構造の再確認)。マスター(オリジナル)データとバックアップデータについて学ぶ。	
2	演習	ハードウェアやI/O設定(仕組み、新規作成、設定のインポート/エクスポート)を学ぶ。	
3	演習	クロックリファレンスとクロックソース、同期を学ぶ。	
4	演習	初期設定(プラグインや各種設定)の構築を研究。	
5	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 1	
6	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 1	
7	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 2	
8	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 2	
9	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 3	
10	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 3	
11	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 4	
12	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 4	
13	演習	実技テスト、解答解説	
14	演習	筆記テスト、解答解説	
15	演習	後期総復習	
準備学習 時間外学習	授業や個人的にPro Toolsを使用して疑問に思ったことをメモ。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験 50% 筆記試験 50%	
教材	教科書		
	参考書	音響設備マニュアルなど☑ ☑	
学生への メッセージ	スキルをさらに磨いて、現場で活かせるよう身につけましょう		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション		
科目名	イベントデザイン1	担当教員名	榎原 義明・山之口 裕子・山田 睦美	
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
「コンサートやイベントを作る」という仕事を理解し、今後、参加していくイベントに向けて必要なスキルを習得することを目指します。イベントやライブ・コンサートが出来上がるまでの大きな流れと、難しさ、面白さを理解し、実際に「企画・制作・運営」ができるようになることを目指します。（資料作成・段取りの組み方などのスキル習得を目指します）				
授業の内容				
前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います				
【実務経験】				
榎原：イベント関係全般（皇室行事・式典・音楽・販促・集客・管理等）の制作・進行・運営のあらゆるシーンに従事。				
山之口：プロダクションでのマネージメント、大型フェス・ファッションショーでの制作業務に従事。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	イベントデザインの授業や取り組みに関して		
2	演習	イベントとは		
3	演習	ビジネスマナーを学ぶ		
4	演習	イベント制作の基礎知識①（イベントを作る工程や役割を理解する）		
5	演習	イベント制作の基礎知識②企画立案するための「アイデア&リサーチ」方法について		
6	演習	イベント制作の基礎知識③アイデアをまとめる		
7	演習	イベント制作の基礎知識④アイデアを書類へ「企画書の作り方」について		
8	演習	イベント制作の基礎知識⑤制作スケジュールの作成方法と必要性について		
9	演習	イベント制作の基礎知識⑥収支を含む必要経費などの算出、概算予算について		
10	演習	〃 ⑦企画内容をプレゼンテーションするための準備とプレゼン方法について		
11	演習	プレゼンテーション(1)		
12	演習	プレゼンテーション(2)		
13	演習	イベントデザイン前期まとめとプレゼンの総評などの調整日		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	講義に関する情報を自分なりにまとめ、前週の課題を次週へ向けて仕上げる。（資料作成など）			
成績評価	1. 実技試験 (%)	実技試験 50%（プレゼンテーションの準備や成果を考慮）		
	2. 筆記試験 (%)	筆記試験 50%（企画書の準備や仕上がりなどを考慮）		
教材	教科書	適宜、必要資料の配布		
	参考書			
学生への メッセージ	【企画】【制作】といわれるイベントを作る仕事をよく理解し、まずはその第一歩である企画に関する工程の基礎を学んでください。後期に予定されている実務に向けてまずは知識を身につけましょう。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション		
科目名	ステージデザイン	担当教員名	稲田 智香子	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	劇場機構を理解しオリジナル作品を作る			
授業の内容	ステージデザインの基礎を学ぶ 前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います			
【実務経験】大阪を拠点に商業ディスプレイ・演劇・オペラ・ミュージカル・コンサート等のデザイン経験を重ね現在は主に吉本興業株式会社さんのステージデザインを手がけている。JATDT日本舞台美術家協会会員。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	〈子供ミュージカル〉平面図・パース作成		
2	演習	〈子供ミュージカル〉平面図・パース作成		
3	演習	〈子供ミュージカル〉制作図面の基礎を学ぶ		
4	演習	〈子供ミュージカル〉制作図面の基礎を学ぶ		
5	演習	〈子供ミュージカル〉模型制作		
6	演習	〈子供ミュージカル〉模型制作		
7	演習	〈ミュージカル〉平面図・パース作成		
8	演習	〈ミュージカル〉平面図・パース作成		
9	演習	〈ミュージカル〉制作図面作成		
10	演習	〈ミュージカル〉制作図面作成		
11	演習	〈ミュージカル〉道具帳彩色		
12	演習	〈ミュージカル〉道具帳彩色		
13	演習	〈ミュージカル〉模型制作		
14	演習	〈ミュージカル〉模型制作		
15	演習	〈ミュージカル〉模型制作		
準備学習 時間外学習	日々デザインソースの引き出しをたくさん作る			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験(100%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	個人の技術力や経験値を高めると共に総合芸術の素晴らしさを感じてもらえたら嬉しいです☆			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	Vectorworks1	担当教員名	吉川 久子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>基本的な図面から作成し、課題を定めて数回に分けて提出してもらいます。 CADを使用する利便性、使用する目的を考え、それに基づく操作方法を習得します。</p>		
授業の内容	<p>前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います</p> <p>【実務経験】 株式会社スタッフユニオンにて舞台美術の製作に携わる</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	Vector Woksの概念、基本操作、2Dツール詳細	
2	演習	基本操作を使用した課題作成	
3	演習	Vector Woksの基本操作、2Dツール詳細	
4	演習	基本操作を使用した課題作成	
5	演習	Vector Woksの応用操作、2Dツール詳細	
6	演習	応用操作を使用した課題作成	
7	演習	製図基本について、2Dツール詳細	
8	演習	製図基本に則した課題作成	
9	演習	三面図について、2Dツール詳細	
10	演習	三面図の課題作成	
11	演習	三面図の課題作成	
12	演習	三面図の課題作成	
13	演習	基本、応用操作を使用した図面作成	
14	演習	基本、応用操作を使用した図面作成	
15	演習	基本、応用操作を使用した図面作成	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	3) 課題 100%	
教材	教科書	Vector Woksではじめるインテリアデザイン	
	参考書	オリジナル教材	
学生への メッセージ	<p>扱う種類は違っても、図面を描く・読むことは必須となります。 1つでも多く得意な事を増やし、自信を持って図面を描いてみましょう。</p>		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅢ	担当教員名	角野由佳	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上を強化			
授業の内容	バレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DA/バレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	演習	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	演習	バーレッスン、センターレッスン		
3	演習	バーレッスン、センターレッスン		
4	演習	バーレッスン、センターレッスン		
5	演習	バーレッスン、センターレッスン		
6	演習	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	演習	バーレッスン、センターレッスン		
8	演習	バーレッスン、センターレッスン		
9	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	演習	試験の振付		
12	演習	試験と振り返り		
13	演習	後期に向けての課題確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅣ	担当教員名	角野由佳	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上を強化			
授業の内容	バレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DA/バレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	演習	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	演習	バーレッスン、センターレッスン		
3	演習	バーレッスン、センターレッスン		
4	演習	バーレッスン、センターレッスン		
5	演習	バーレッスン、センターレッスン		
6	演習	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	演習	バーレッスン、センターレッスン		
8	演習	バーレッスン、センターレッスン		
9	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	演習	試験の振付		
12	演習	試験		
13	演習	課題設定と振付確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	JAZZⅢ		担当教員名	MICHI
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標		学生の持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。自信をもって個性を活かしダンスを披露できる力をつける。		
授業の内容		ストレッチをし、身体の使い方を説明し、ダンスに必要な基礎を教え、ダンスの楽しさと難しさを伝える。表現力を身につけるためのワーク。		
【実務経験】		スタジオ経営しています。JAPAN DANCE DELIGHT 2016 FINALIST JAZZ SENSATION 2015 2位		
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
2	演習	ストレッチ・プリエ・コンビネーション		
3	演習	ストレッチ・コンビネーションを長くして振り憶えの強化		
4	演習	ストレッチ・クロスフロア・タンジュ等基礎メイン		
5	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・ジャンプ強化		
6	演習	表現力を押し出したコンビネーションで個性を出す練習		
7	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
8	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・タンジュ・コンビネーション		
9	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
10	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
11	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・クロスフロア・コンビネーション		
12	演習	試験振り渡しと振り返り		
13	演習	試験と振り返り		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	苦手なことを主にながらんで努力して欲しいです。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	JAZZIV		担当教員名	MICHI
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	学生の持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。自信をもって個性を活かしダンスを披露できる力をつける。			
授業の内容	ストレッチをし、身体の使い方を説明し、ダンスに必要な基礎を教え、ダンスの楽しさと難しさを伝える。表現力を身につけるためのワーク。			
【実務経験】 スタジオ経営しています。JAPAN DANCE DELIGHT 2016 FINALIST JAZZ SENSATION 2015 2位				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
2	演習	ストレッチ・プリエ・コンビネーション		
3	演習	ストレッチ・コンビネーションを長くして振り憶えの強化		
4	演習	ストレッチ・クロスフロア・タンジュ等基礎メイン		
5	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・ジャンプ強化		
6	演習	表現力を押し出したコンビネーションで個性を出す練習		
7	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
8	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・タンジュ・コンビネーション		
9	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
10	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
11	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・クロスフロア・コンビネーション		
12	演習	試験振り渡しと振り返り		
13	演習	試験と振り返り		
14		(ワークシヨップ)		
15		(ワークシヨップ)		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	苦手なことを主にながらんで努力して欲しいです。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	テーマパークベーシックⅢ	担当教員名	八幡谷 有希	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	(1) 基礎の大切さの理解 (2) 身体で表現する事へのレッスンの受け方 (3) プロになる為に必要な事への理解			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 自分の個性を見つけ表現力と技術を身に付ける			
【実務経験】 某大手テーマパークにてダンサークラス。ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ダンスに必要な基礎の確認を重点的に		
2	演習	エクササイズので理解して取り組んでるのかの確認を重点的に		
3	演習	クロスフロアの基礎を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
4	演習	クロスフロアの応用を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
5	演習	センター振り付け(早めに覚えられる様に集中力を身に付ける)		
6	演習	振り付けの確認と振り付けでの注意点の理解		
7	演習	表現力と魅せていく踊りを自分で作っていく		
8	演習	自分の個性を理解しダンスにつなげていく		
9	演習	少人数で踊る事への慣れや楽しみを覚える		
10	演習	お互いを高め合い人の長所を見て自分に吸収していく		
11	演習	前期への復習と後期への目標を明確にする		
12	演習	少人数で振り付けを踊れる様に慣れる		
13	演習	前期での復習と後期に向けての目標を立てる		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	常に見られている事を意識して生活し、美の意識も持ちファッションや化粧も研究し、自分が綺麗に見える方法を研究してほしい。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験	実技試験：100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	個性を生かし常に、夢の為に今、何が出来るかを考えながら、ダンスのスキルに満足する事なく夢に向かってほしい			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	テーマパークベーシックⅣ	担当教員名	八幡谷 有希	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
(1) 基礎の大切さの理解 (2) 身体で表現する事へのレッスンの受け方 (3) プロになる為に必要な事への理解				
授業の内容		※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 自分の個性を見つけ表現力と技術を身に付ける		
【実務経験】				
某大手テーマパークにてダンサークラス。ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ダンスに必要な基礎の確認を重点的に		
2	演習	エクササイズので理解して取り組んでるのかの確認を重点的に		
3	演習	クロスフロアの基礎を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
4	演習	クロスフロアの応用を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
5	演習	センター振り付け(早めに覚えられる様に集中力を身に付ける)		
6	演習	振り付けの確認と振り付けでの注意点の理解		
7	演習	表現力と魅せていく踊りを自分で作っていく		
8	演習	自分の個性を理解しダンスにつなげていく		
9	演習	少人数で踊る事への慣れや楽しみを覚える		
10	演習	お互いを高め合い人の長所を見て自分に吸収していく		
11	演習	前期への復習と後期への目標を明確にする		
12	演習	少人数で振り付けを踊れる様に慣れる		
13	演習	後期での復習と今後に向けての目標を立てる		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	常に見られている事を意識して生活し、美の意識も持ちファッションや化粧品も研究し、自分が綺麗に見える方法を研究してほしい。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験	実技試験：100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	個性を生かし常に、夢の為に今、何が出来るかを考えながら、ダンスのスキルに満足する事なく夢に向かってほしい			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	STREET III	担当教員名	TOM (富田 麻里)
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	基本STEPからリズム崩しの応用まで 16ビートで取る細かいSTEPも踊れるようになる		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 基本STEPの精度を高め、応用力に活かせよう動きの細かいところまで指導する。加え、体全体のバランス、リズムの乗りのバランスも指導する。		
【実務経験】	DA、大学、ダンススクールでの5年以上の指導歴あり		
回数	授業形態	内容	
1	演習	リズム取り、基本STEP～16ビートSTEP	
2	演習	足のつけ根を使った全身で踊るSTEP紹介	
3	演習	復習、精度を高める	
4	演習	ルーティン⑤	
5	演習	ツイスト・ターンを入れた動きを紹介	
6	演習	STEPツイストターンを組み合わせ練習	
7	演習	ルーティン⑥	
8	演習	クイック・足首を使ったSTEP紹介	
9	演習	BODYコントロールを加える	
10	演習	全ての動きをつなげ練習	
11	演習	ルーティン練習	
12	演習	ルーティン完成させる	
13	演習	試験と振り返り	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	前回の復習をしておく。楽譜に目を通す。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	STREETIV		担当教員名	TOM (富田 麻里)
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	基本STEPからリズム崩しの応用まで 16ビートで取る細かいSTEPも踊れるようになる			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 基本STEPの精度を高め、応用力に活かせよう動きの細かいところまで指導する。加え、体全体のバランス、リズムの乗りのバランスも指導する。			
【実務経験】				
DA、大学、ダンススクールでの5年以上の指導歴あり				
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズム取り、基本STEP～16ビートSTEP		
2	演習	足のつけ根を使った全身で踊るSTEP紹介		
3	演習	復習、精度を高める		
4	演習	ルーティン⑦		
5	演習	ツイスト・ターンを入れた動きを紹介		
6	演習	STEPツイストターンを組み合わせ練習		
7	演習	ルーティン⑧		
8	演習	クイック・足首を使ったSTEP紹介		
9	演習	BODYコントロールを加える		
10	演習	全ての動きをつなげ練習		
11	演習	ルーティン練習		
12	演習	ルーティン完成させる		
13	演習	試験と振り返り		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	前回の復習をしておく。楽譜に目を通す。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	K-POP III	担当教員名	チェ・リョンヒ	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	K-POPのダンススタイルを習得する。1人1人のスキルアップ。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 筋トレ、ウォーキングから始め、K-POPのダンススタイルを通じてそれぞれ個性を活かしてみせる練習。			
【実務経験】韓国アーティストのバックダンサー・アイドル育成、イ・リョリ、VIXX、ソンシギョン等コンサートにも出演、URIZIPスタジオ・GPスタジオでK-POPダンスを担当。2018年にTaeワンマンライブに出演、他KARAスヨン-フアンミーティング出演				
日程	授業形態	内容		
1	演習	アップ、筋トレ、基礎		
2	演習	アップ、筋トレ、基礎		
3	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
4	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、新しい振り		
5	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
6	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
7	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
8	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
9	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
10	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
11	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
12	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
13	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	筋トレ、アイソレーション、振り確認、見せ方研究！！			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ファイティン！！			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	K-POP IV	担当教員名	チェ・リョンヒ	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	K-POPのダンススタイルを習得する。1人1人のスキルアップ。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 筋トレ、ウォーキングから始め、K-POPのダンススタイルを通じてそれぞれ個性を活かしてみせる練習。			
【実務経験】韓国アーティストのバックダンサー・アイドル育成、イ・リョリ、VIXX、ソンシギョン等コンサートにも出演、URIZIPスタジオ・GPスタジオでK-POPダンスを担当。2018年にTaeワンマンライブに出演、他KARAスヨン-フアンミーティング出演				
日程	授業形態	内容		
1	演習	アップ、筋トレ、基礎		
2	演習	アップ、筋トレ、基礎		
3	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
4	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、新しい振り		
5	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
6	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
7	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
8	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
9	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
10	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
11	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
12	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
13	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	筋トレ、アイソレーション、振り確認、見せ方研究！！			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ファイティン！！			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	POPPIN III	担当教員名	NOBOU (北之防 和志)
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	POPの応用を使って踊れるようになる事。個性を意識したパフォーマンスが出来る。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 動きとリズム、音楽を意識しながら踊る		
【実務経験】 指導歴20年			
回数	授業形態	内容	
1	演習	ベーシックルーティーン	
2	演習	ベーシックルーティーン	
3	演習	ベーシックルーティーン	
4	演習	ベーシックルーティーン	
5	演習	ベーシックルーティーン	
6	演習	ベーシックルーティーン	
7	演習	アドバンスルーティーン	
8	演習	アドバンスルーティーン	
9	演習	アドバンスルーティーン	
10	演習	アドバンスルーティーン	
11	演習	アドバンスルーティーン	
12	演習	アドバンスルーティーン	
13	演習	試験と振り返り	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	アイソレ、リズムトレーニング		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験60% 課題40%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	練習を積み重ねて基本的な質やベーシックを向上させていきましょう。それらを使って自由に楽しく踊れるダンサーになって下さい。		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	POPPINIV	担当教員名	NOBOU (北之防 和志)
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	POPの応用を使って踊れるようになる事。個性を意識したパフォーマンスが出来る。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 動きとリズム、音楽を意識しながら踊る		
【実務経験】 指導歴20年			
回数	授業形態	内容	
1	演習	アドバンスルーティーン	
2	演習	アドバンスルーティーン	
3	演習	アドバンスルーティーン	
4	演習	アドバンスルーティーン	
5	演習	アドバンスルーティーン	
6	演習	アドバンスルーティーン	
7	演習	アドバンスルーティーン	
8	演習	アドバンスルーティーン	
9	演習	アドバンスルーティーン	
10	演習	アドバンスルーティーン	
11	演習	アドバンスルーティーン	
12	演習	アドバンスルーティーン	
13	演習	試験と振り返り	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	アイソレ、リズムトレーニング		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験60% 課題40%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	練習を積み重ねて基本的な質やベーシックを向上させていきましょう。それらを使って自由に楽しく踊れるダンサーになって下さい。		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ヴォイストレーニングⅢ	担当教員名	吉村元子	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	1年次に学んだVTの内容の発展、拡大			
授業の内容	ヴォーカリストとしての体作りと発声法の習得が主な内容。トレーニング方法を知り、積み重ねていくことで、歌の表現の幅を広げる。			
【実務経験】	1988年大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、教員免許取得。在学中より、バックコーラスとして宝塚歌劇団やTV、CMに出演。2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	1年次のVTで学んだことの復習		
2	演習	声量アップの為のトレーニング		
3	演習	低音域の安定を目指すトレーニング		
4	演習	中音域の安定を目指すトレーニング		
5	演習	高音域の安定と声域拡大の為のトレーニング		
6	演習	歌唱表現の為のファルセット		
7	演習	共鳴①(より充実した響きを習得する)		
8	演習	共鳴②(マイクを使用し響きの確認)		
9	演習	コーラスワーク①(読譜力をつける)		
10	演習	コーラスワーク②(正しい音程、正しいリズムで表現する)		
11	演習	コーラスワーク③(ハーモニーに慣れる)		
12	演習	コーラスワーク 発表		
13	演習	まとめ		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	トレーニング前のからだ作り(いつでも歌えるように体をほぐしておく)。 トレーニング内容については反復練習。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	毎日の積み重ねが力になります。基本に忠実にトレーニングしながら、自分の声の魅力を存分に知り、歌に活かしましょう。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ヴォイストレーニングⅣ	担当教員名	吉村元子	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	1年次に学んだVTの内容の発展、拡大			
授業の内容	ヴォーカリストとしての体作りと発声法の習得が主な内容。トレーニング方法を知り、積み重ねていくことで、歌の表現の幅を広げる。			
【実務経験】	1988年大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、教員免許取得。在学中より、バックコーラスとして宝塚歌劇団やTV、CMに出演。2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	これまでの復習をしながら、トレーニングの流れを理解し実践する。		
2	演習	声の支えと体の開放の再確認(より自然な声、自分のベストな声を知る)		
3	演習	声区の移行(よりスムーズに広い声区を移行できるようになる)		
4	演習	跳躍音程(跳躍進行時の声を安定させる)		
5	演習	リズムトレーニング(複雑なリズムも理解し、対応できるようになる)		
6	演習	トレーナーとしてのスキルを身につける(キーボードを弾きながら発声練習ができるようになる)		
7	演習	トレーナーとしてのスキルを身につける(他の人の発声について考察し、アドバイスができるようになる)		
8	演習	コーラスワーク①(読譜力を強化する)		
9	演習	コーラスワーク②(正しいリズム、音程で表現することができる)		
10	演習	コーラスワーク③(ハーモニーを強化し、より美しいハーモニーで歌えるようになる)		
11	演習	コーラスワーク④(音と言葉の関係を考え、表現力を強化する)		
12	演習	コーラスワーク成果発表		
13	演習	これまでのトレーニングを振り返り、自分に必要なトレーニングスケジュールを改めて組み立てる。		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	トレーニング前のからだ作り(いつでも歌えるように体をほぐしておく)。 トレーニング内容については反復練習。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	毎日の積み重ねが力になります。基本に忠実にトレーニングしながら、自分の声の魅力を存分に知り、歌に活かしましょう。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ゴスペルアンサンブルⅢ	担当教員名	池末 信	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。				
授業の内容				
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。				
【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。				
日程	授業形態	内容		
1	演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー		
2	演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲		
3	演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス		
4	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー		
5	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー		
6	演習	3曲新曲、選択理論ワーク		
7	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス		
8	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス		
9	演習	プレイフルワーク、楽曲復習		
10	演習	楽曲復習、新曲レクチャー		
11	演習	楽曲復習、新曲レクチャー		
12	演習	楽曲復習、ケイティワーク		
13	演習	新曲レクチャー		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる」			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ゴスペルアンサンブルⅣ	担当教員名	池末 信	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。 それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。				
授業の内容				
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。				
【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。				
日程	授業形態	内容		
1	演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー		
2	演習	楽曲復習		
3	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー		
4	演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー		
5	演習	楽曲復習、動き復習		
6	演習	ケイティワーク、2曲新曲		
7	演習	楽曲復習、動き復習		
8	演習	楽曲復習		
9	演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習		
10	演習	発表会リハーサル演習		
11	演習	発表会リハーサル演習		
12	演習	発表会リハーサル演習		
13	演習	総復習		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれるう			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ソルフェージュ I	担当教員名	高岡利江	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	リズムトレーニングで、譜面を解読出来る基礎の力を身につける。 ドリルや、移動ドのソルフェージュで正確な音を出せるように身につける。 将来プロとして活躍するうえでとても重要な授業なので意味付けをしていく。			
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 音を正確に出していくトレーニング。ドリル。・譜面を読むために必要なリズムトレーニング ・移動ドソルフェ メロディー読み(パークリー音楽大学での資料を使用し、毎週4つの内容を繰り返し、2、3週間に1回レベル上げていく。) 			
【実務経験】THE SOULMATICSのメンバーとして、学校公演やレコーディング、イベントなど幅広く活躍しており、留学経験を活かし2017年にはニューヨークにて行われたグラミー賞三度も受賞しているDorinda Clark Coleもゲスト参加した国際ゴスペルフェスティバルにてコンサートツアーに参加し成功に大きく貢献している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	小テスト、自己紹介、授業説明		
2	演習	Chapter1		
3	演習	Chapter1,2		
4	演習	Chapter2		
5	演習	Chapter3		
6	演習	Chapter3,4		
7	演習	Chapter4		
8	演習	Chapter4,5		
9	演習	復習		
10	演習	復習		
11	演習	テスト		
12	演習	Chapter5		
13	演習	Chapter6		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ドリル1日3回、メロディー、リズム復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書	パークリー音楽大学の資料を使用。		
学生への メッセージ	簡単なことを100点にしてもらおう授業です。 続けられ続けるだけ良いことしかありません！			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	ソルフェージュⅡ	担当教員名	高岡利江
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	リズムトレーニングで、譜面を解読出来る基礎の力を身につける。 ドリルや、移動ドのソルフェージュで正確な音を出せるように身につける。 将来プロとして活躍するうえでとても重要な授業なので意味付けをしていく。		
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 音を正確に出していくトレーニング。ドリル。 譜面を読むために必要なリズムトレーニング 移動ドソルフェ メロディー読み(パークリー音楽大学での資料を使用し、毎週4つの内容を繰り返し、2、3週間に1回レベル上げていく。) 		
【実務経験】THE SOULMATICSのメンバーとして、学校公演やレコーディング、イベントなど幅広く活躍しており、留学経験を活かし2017年にはニューヨークにて行われたグラミー賞三度も受賞しているDorinda Clark Coleもゲスト参加した国際ゴスペルフェスティバルにてコンサートツアーに参加し成功に大きく貢献している。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Chapter 5.6	
2	演習	Chapter5.6,譜面配って解読	
3	演習	Chapter6,譜面配って解読	
4	演習	Chapter6,,譜面配って解読	
5	演習	Chapter6,譜面読み	
6	演習	Chapter7,譜面読み	
7	演習	Chapter7,譜面読み	
8	演習	Chapter7,譜面読み	
9	演習	Chapter8	
10	演習	Chapter8	
11	演習	復習	
12	演習	実技試験と振り返り	
13	演習	見直し、復習	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	ドリル1日3回、メロディー、リズム復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験 100%	
教材	教科書		
	参考書	パークリー音楽大学の資料を使用。	
学生への メッセージ	簡単なことを100点にしてもらって授業です。 続けられ続けるだけ良いことしかありません！		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			アクティングコミュニケーション	
授業名	舞台プロジェクト（リコモーション）Ⅲ		担当教員名	中西 邦子(リコモーション)
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動			
授業の内容	<p>月1回ペースでのグループ発表。（5～10分程度）</p> <p>あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。</p> <p>発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。</p> <p>【実務経験】</p> <p>大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属の俳優。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業内容説明。基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
2	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
3	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
4	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
5	演習	発表①		
6	演習	基礎練、発声。発表②に向けての創作活動。		
7	演習	基礎練、発声。発表②に向けての創作活動。		
8	演習	基礎練、発声。発表②に向けての創作活動。		
9	演習	発表②		
10	演習	基礎練、発声。発表③に向けての創作活動。		
11	演習	基礎練、発声。発表③に向けての創作活動。		
12	演習	発表③。夏期課題説明。		
13	演習	夏期課題発表		
14	演習			
15	演習			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	特になし		
	参考書	特になし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト(リコモーション)Ⅳ	担当教員名	中西 邦子(リコモーション)	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動			
授業の内容	<p>月1回ペースでのグループ発表。(5～10分程度)</p> <p>あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。</p> <p>発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。</p> <p>【実務経験】</p> <p>大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属の俳優。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
2	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
3	演習	発表①		
4	演習	公演出演者オーディション実施・決定		
5	演習	稽古開始。台本(一部)使用。		
6	演習	稽古		
7	演習	稽古。上演台本完成予定。キャスト決定。		
8	演習	稽古		
9	演習	稽古		
10	演習	稽古		
11	演習	稽古		
12	演習	稽古。以降集中稽古。		
13	演習	卒業・進級公演の総括。		
14	演習			
15	演習			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	特になし		
	参考書	特になし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	アクションⅢ	担当教員名	杉本 佳幹
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>アクションを通じて、第一にコミュニケーション能力の向上、その上で技術を学んで頂き、プロで活躍出来る事を目標とする。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際の撮影、舞台、イベントの現場で行われたプロのアクションシーンを再現し 解説をしながら、実際に生徒様にアクションの体験をして頂く。</p>		
【実務経験】			
映画：関ヶ原、引越し大名 ドラマ：ミナミの帝王、舞台、CM、イベント 等			
回数	授業形態	内容	
1	演習	アクションの様々な動きの解説、体験。立ち回り。	
2	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
3	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
4	演習	マット(受け身、リアクション)障害物を置いてのアクション	
5	演習	マット(受け身、リアクション)トランポリンを使ったアクション	
6	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
7	演習	グループ分けをし、自分達でアクションを作る	
8	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
9	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
10	演習	立ち回り(1人VS多人数)	
11	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
12	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
13	演習	グループ分けをし、自分達でアクションを作る	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	自宅等で柔軟をし、体を柔らかくする		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技試験(70%) 3.課題(30%)	
教材	教科書	特になし	
	参考書	特になし	
学生への メッセージ	皆さんが現場へ出た時に、アクションの授業を受けておいて良かったと、役に立ったと 思えるような授業にしていきたいと、考えています！		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	アクションⅣ	担当教員名	杉本 佳幹
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>アクションを通じて、第一にコミュニケーション能力の向上、その上で技術を学んで頂き、プロで活躍出来る事を目標とする。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際の撮影、舞台、イベントの現場で行われたプロのアクションシーンを再現し 解説をしながら、実際に生徒様にアクションの体験をして頂く。</p>		
【実務経験】			
映画：関ヶ原、引越し大名 ドラマ：ミナミの帝王、舞台、CM、イベント 等			
回数	授業形態	内容	
1	演習	アクションの様々な動きの解説、体験。立ち回り。	
2	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
3	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
4	演習	マット(受け身、リアクション)障害物を置いてのアクション	
5	演習	マット(受け身、リアクション)トランポリンを使ったアクション	
6	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
7	演習	グループ分けをし、自分達でアクションを作る	
8	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
9	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
10	演習	立ち回り(1人VS多人数)	
11	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
12	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
13	演習	グループ分けをし、自分達でアクションを作る	
14		(ワークショップ)	
15	1. 実技試験(70%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	自宅等で柔軟をし、体を柔らかくする		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技試験(70%) 3.課題(30%)	
教材	教科書	特になし	
	参考書	特になし	
学生への メッセージ	皆さんが現場へ出た時に、アクションの授業を受けておいて良かったと、役に立ったと 思えるような授業にしていきたいと、考えています！		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	インプロビゼーションⅢ	担当教員名	広瀬 謙	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2 年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	一年間やってきたことを踏まえ、レベルアップを目指し、より実践にむけたプログラムで、表現者としてのスキルをあげていきたい。最終目標としては、スキルアップした各々の力を試せるような発表の場を設け、挑戦してもらう。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する一年間やってきたことをさらにグレードアップし、実践で役立つように、実際に行動することによって、そこで得られるものをはっきり肌で感じとって、学んでいってもらう。			
【実務経験】				
1995年より芸能活動を始め、映画・テレビ・舞台で俳優として活動を続け、2011年より、演技やセミナーなど講師業もスタートさせる。現在は、劇団を立ち上げ、毎年公演。出演以外に脚本、演出も手掛ける。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	インプロビゼーション1 (一年間の復習を兼ねて)		
2	演習	インプロビゼーション2 (レベルアップ思考 - 楽しむ -)		
3	演習	インプロビゼーション3 (レベルアップ思考 - 苦しむ -) ※ステイタス		
4	演習	インプロビゼーション4 (レベルアップ思考 - 創作する -) ※プラットフォーム		
5	演習	動機と目的意識 (演じるということ)		
6	演習	行動 - アクティビティ (実際に「する」ということを体感させる)		
7	演習	感情開放 (テキスト台本)		
8	演習	テキスト台本 (舞台づくり)		
9	演習	発表会 (インプロ芝居) に向けて 1 ※構成台本説明		
10	演習	発表会 (インプロ芝居) に向けて 2 ※エチュード		
11	演習	発表会 (インプロ芝居) に向けて 3 ※エチュード		
12	演習	発表会 (インプロ芝居) ※紅白戦		
13	演習	インプロビゼーション5 (前期の集大成)		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	何事にも関心を持つよう心掛けてください。また、本を読む習慣をつけてください。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験	実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	まずはやる。やってみて感性でいろいろと成長していってもらえたらと思います。 とにかく楽しみましょう！			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	インプロビゼーションⅣ	担当教員名	広瀬謙	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	一年間やってきたことを踏まえ、レベルアップを目指し、より実践にむけたプログラムで、表現者としてのスキルをあげていきたい。最終目標としては、スキルアップした各々の力を試せるような発表の場を設け、挑んでもらう。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する一年間やってきたことをさらにグレードアップし、実践で役立つように、実際に行動することによって、そこで得られるものをはっきり肌で感じとって、学んでいってもらう。			
【実務経験】				
1995年より芸能活動を始め、映画・テレビ・舞台上で俳優として活動を続け、2011年より、演技やセミナーなど講師業もスタートさせる。現在は、劇団を立ち上げ、毎年公演。出演以外に脚本、演出も手掛ける。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	インプロビゼーション1（前期の復習を兼ねて）		
2	演習	インプロビゼーション2（レベルアップ思考 - 楽しむ -）		
3	演習	インプロビゼーション3（レベルアップ思考 - 苦しむ -）※ステイタス		
4	演習	インプロビゼーション4（レベルアップ思考 - 創作する -）※プラットフォーム		
5	演習	俯瞰目線（演じるということ）		
6	演習	俯瞰目線（演じるということ）		
7	演習	エチュード、シーンスタディ1		
8	演習	エチュード、シーンスタディ2		
9	演習	テキスト台本（舞台づくり）		
10	演習	キャラクターを演じる（役柄思考）		
11	演習	テキスト台本（演出をいれて、対応力をつけてもらいます。）		
12	演習	テキスト台本（演出をいれて、対応力をつけてもらいます。）		
13	演習	インプロビゼーション5（一年の集大成）		
14		（ワークショップ）		
15		（ワークショップ）		
準備学習 時間外学習	自分にとって感情が動いたことを集めてください。（喜怒哀楽自由）			
成績評価	1. 実技試験 （%） 2. 筆記試験	実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	まずはやる。やってみて感性でいろいろと成長していってもらえたらと思います。 とにかく楽しみましょう！			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	2.5次元プロジェクトII	担当教員名	早川 康介(SET)	
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	IPを用いた2.5次元の舞台制作を通じて、技術的な向上、プロとしての意識を獲得する。			
授業の内容	2.5次元の舞台制作を通じて、芝居の基本から本番までの流れを経験する。			
【実務経験】				
スーパー・エキセントリックシアター所属の演出家を作品によって手配。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	演技基礎1		
2	演習	演技基礎2		
3	演習	オーディション		
4	演習	衣装合わせ		
5	演習	メイク合わせ		
6	演習	台本を使用した演技指導1		
7	演習	台本を使用した演技指導2		
8	演習	台本を使用した演技指導3		
9	演習	通し稽古1		
10	演習	通し稽古2		
11	演習	通し稽古3		
12	演習	ゲネプロ		
13	演習	本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業内容をよく理解し翌週までに練習をしておく			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験	1.実技試験を100%		
教材	教科書	オリジナル台本		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	映像アクティング I	担当教員名	押谷 かおり	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>まずは台本を正しく理解し、正しい解釈ができることを基本とし、与えられた役の人物像を想像力を駆使して掴んでいくこと。そのうえで、その感情を、自身の肉体と感情を用いて、「気持ちに嘘偽りなく自然に表現できる」こと。さらには、その役として居続ける中で、その瞬間瞬間に関わる他者とコミュニケーションが自由にはかれることを最終目標とする</p>			
授業の内容	<p>映像演技(感情にそった身体表現)の実技と、感情解放。および、豊かな人格を育てる。</p> <p>演技は「豊かな人になるための効果的なメソッド」だと考え、広い視野、他者を想う心、自由な発想や想像力を高めるために、毎回「感情を動かさないと成立しないエチュード」を実践。映像撮りしたものをプレビューすることによって、自分の表現を確認しつつ、「こちらに心がなければ、技術だけでは見ている人は誰も感動しない」という、当たり前のことを繰り返し勉強する</p>			
実務経験	<p>大阪音楽大学ピアノ科卒業と同時に、演技の勉強経験のないままNHK朝ドラ「純ちゃんの応援歌」でヒロインの親友・ライバル役でデビュー。その後、ドラマだけでなく、映画、CM、レポーター、モデル、生番組の司会、ドキュメンタリーナレーション、ラジオドラマ、イベント司会、声優、舞台など、業界のあらゆるジャンルの仕事を、すべて現場で一から叩き込まれる。現在は舞台の演出、脚本、選曲等、制作や後輩の育成にも力を入れている</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	自己紹介・発声・テキストの初見。次回までの課題の提示		
2	演習	「エチュード喫茶店」台本を深く読み取る		
3	演習	どうすれば相手に正しく伝えることができるか、パターンの模索		
4	演習	想像力を広げて、役の人物になりきる		
5	演習	言葉の裏の真実を探る。感情の置き換えと自由な演技		
6	演習	「エチュード4人」読み合わせ～早速動いてみる		
7	演習	それぞれの役柄の特徴、役割を考える		
8	演習	本気で自分の感情を相手にぶつけてみる 「感情解放」ワークショップ		
9	演習	役を掘り下げる。役と自分自身の相違点について考える		
10	演習	心、肉体、言葉のすべてを使って他者とのコミュニケーションを成立させる		
11	演習	心で演じる。頭で考えるのではなく心で感じる		
12	演習	実技試験 好きなように自由に演じる		
13	演習	表現するにあたり、かかせないコミュニケーションとチームワークの確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	渡したテキストは必ず暗記。台本はしっかりと読み込んで自分の解釈を持って授業に臨むこと。読書(特に小説)と人間観察、自分磨きは学校ではなく日ごろ常に心掛ける			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	エチュードテキスト(オリジナル)		
	参考書			
学生への メッセージ	<p>演技の勉強は人間の勉強。形だけの芝居ではなく、心からあふれ出すものを一番大切に、恥ずかしがらず、自分らしく自由に、楽しく授業時間を有意義に。自分の意見や考えがしっかり言える人になること。時には本気でケンカや言い合いができるほど、まずは少しでも早く仲良くなるのが、全体のレベルアップの近道なので、誰とでも仲良くなれる自分を目指して、目標を同じくする仲間と笑顔で切磋琢磨してほしい。質問や悩みなども皆の前で堂々と話せるような、またそれをちゃんと聞けるような空気を皆で作ってほしい</p>			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	映像アクティングⅡ	担当教員名	押谷かおり	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	自分以外の人物の内面や感情を深層的確にとらえることのできる感性と想像力の構築 単に表現力を向上させることのみが目標ではなく、日常から自分や他者を深く観察し理解する力を高めること。自分の意志や感情を相手に自分の言葉で伝えられるコミュニケーション能力をつけること。個々の個性を大切にしつつ、周囲から愛される人間力を向上させることを「演じる」という疑似体験の中から体得すること。最終は「人に好かれる人、愛される人。幸せになる人づくり」			
授業の内容	必ず本気で感情を出さないと成立しない短いエチュードを用いての実技の反復 台本の理解(全体の把握。役作りのヒントを探るだけでなく、想像力を使って役柄に独自の解釈や幅を与える)。羞恥心を捨て、声、表情だけでなく肉体すべてを使って感情を表現する。その中で相手の言葉を聞く、表面上ではなく奥にある真実を読み取る洞察力を養う。現場で最も大切な「集中力」「自由な想像力」を高めることはもちろん、「発信力より、まずは受信力を高める(他者を想える力)こと」と、自然体で人と関われるコミュニケーション力を双方で引き出せること、人と繋がった時の喜びを感じることの重要性を学んでほしい			
【実務経験】大阪音楽大学ピアノ科卒業と同時に、演技の勉強経験のないままNHK朝ドラ「純ちゃんの応援歌」でヒロインの親友・ライバル役でデビュー。その後、ドラマだけでなく、映画、CM、レポーター、モデル、生番組の司会、ドキュメンタリーナレーション、ラジオドラマ、イベント司会、声優、舞台など、業界のあらゆるジャンルの仕事を、すべて現場で一から叩き込まれる。現在は舞台の演出、脚本、選曲等、制作や後輩の育成にも力を入れている				
回数	授業形態	内容		
1	演習	台本の理解、正しい解釈		
2	演習	役柄を膨らませる想像力		
3	演習	他者とかかわることでしか生まれない、自分を知る		
4	演習	チームワーク		
5	演習	受け取る力 受信の重要性		
6	演習	自身の感情解放		
7	演習	そのシーンにおける役割を考える 客観視する力		
8	演習	二つの集中力(役に入り込む集中力と俯瞰で全体を感じる集中力)		
9	演習	相手役やチーム内でのコミュニケーションでシーンを深める		
10	演習	感じたままに自然に動く肉体の確認		
11	演習	自由に演じる		
12	演習	実技試験		
13	演習	総評 即興		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	渡したテキストは必ず暗記。台本はしっかりと読み込んで自分の解釈を持って授業に臨むこと。読書(特に小説)と人間観察、自分磨きは学校ではなく日ごろ常に心掛ける			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	エチュードテキスト(オリジナル)		
	参考書			
学生への メッセージ	演技の勉強は人間の勉強。形だけの芝居ではなく、心からあふれ出すものを一番大切に、恥ずかしがらず、自分らしく自由に、楽しく授業時間を有意義に。自分の意見や考えがしっかり言える人になること。時には本気でケンカや言い合いができるほど、まずは少しでも早く仲良くなるのが、全体のレベルアップの近道なので、誰とでも仲良くなれる自分を目指して、目標を同じくする仲間と笑顔で切磋琢磨してほしい。質問や悩みなども皆の前で堂々と話せるような、またそれをちゃんと聞けるような空気を皆で作ってほしい			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	ナレーションⅢ	担当教員名	藤野 孝教
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>原稿の内容に応えられる豊かな表現力を身につける。 アクセント、鼻濁音等の、アナウンスメントの基本を押さえつつ、声のコントロール術を身につける。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ニュース、CM、古典など、実際の放送で使用されたもの、または、使用されるレベルのものを用意し、一人一人の個性が伸ばし通用する技術の習得。</p>		
<p>【実務経験】株式会社 昭和プロダクション所属。フリーアナウンサー ラジオパーソナリティー、TV、ラジオのナレーターをつとめる。 ヴォイストレーナーとしても活動し、演技やアナウンスなど、喋る仕事のための発声トレーニングを行う。</p>			
回数	授業形態	内容	
1	演習	表現技術 CMナレーション 基本の確認	
2	演習	声量の調整 積極的な表現を身につける	
3	演習	声のトーンの変え方 台本に書かれている言葉を自分の言葉として表現する	
4	演習	声の響きを磨く 言葉の強調の方法を知る	
5	演習	ペースとなる声を磨く CMナレーション 自然体で出せる声を磨く	
6	演習	疲れない声の出し方 気持ちを声に乗せる方法を学ぶ	
7	演習	声の幅を広げる 原稿の内容に応じたトーンを学ぶ	
8	演習	気持ちと声のコントロール 声の高低の使い分けを身につける	
9	演習	原稿を自分のものにする方法を身につける 物語・エッセイ	
10	演習	技術に個性をプラスする方法を学ぶ	
11	演習	本番でのスイッチの入れ方を学ぶ	
12	演習	前期で学んだことの再確認	
13	演習	試験ナレーション原稿と振り返り	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	1日1～3分 授業で行う発声の反復トレーニング		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%	
教材	教科書	講師 藤野が用意するナレーション原稿	
	参考書	日本語アクセント辞典	
学生への メッセージ	<p>基礎があつてこそ個性が輝きます 高い声、低い声、だみ声、色んな音声表現を身につけていきましょう</p>		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	ナレーションⅣ	担当教員名	藤野 孝教
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	原稿の内容に応えられる豊かな表現力を身につける。 アクセント、鼻濁音等の、アナウンスメントの基本を押さえつつ、声のコントロール術を身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ニュース、CM、古典など、実際の放送で使用されたもの、または、使用されるレベルのものを用意し、一人一人の個性が伸ばし通用する技術の習得。		
【実務経験】株式会社 昭和プロダクション所属。フリーアナウンサー ラジオパーソナリティー、TV、ラジオのナレーターをつとめる。 ヴォイストレーナーとしても活動し、演技やアナウンスなど、喋る仕事のための発声トレーニングを行う。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	自己紹介 前期で学んだことの再確認	
2	演習	基本の確認 発声トレーニング	
3	演習	疲れしない声の出し方を学ぶ	
4	演習	声の幅を広げる 原稿の内容に応じたトーンを学ぶ	
5	演習	発声トレーニング ニュース原稿を読む	
6	演習	ニュース原稿で起訴のアナウンス力と、一般知識を確かめる	
7	演習	CM原稿、求められる世界観とそれに対応した表現力	
8	演習	CM原稿、録音を行い、自身の表現力の可能性を探る	
9	演習	ナレーション原稿、内容を効果的に伝える間の取り方を身につける	
10	演習	ニュース原稿、一つのセンテンスが長い文で息のコントロールをする。一般知識確認	
11	演習	ナレーション原稿、内容を正しく理解し伝えるためのアナウンス技術の使い方	
12	演習	落語のセリフを読み、リズム感とメロディーを身につける	
13	演習	試験ナレーションと振り返り	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	1日1～3分 授業で行う発声の反復トレーニング		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%	
教材	教科書	講師 藤野が用意するナレーション原稿	
	参考書	日本語アクセント辞典	
学生への メッセージ	基礎があつてこそ個性が輝きます 高い声、低い声、だみ声、色んな音声表現を身につけていきましょう		

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ダンスプロジェクト	
授業名	ダンスプロジェクトⅢ		担当教員名	IPPEI
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。			
授業の内容	振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。			
【実務経験】 アーティストの振付、ライブ演出、ダンサーディレクション。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	音響機材入門		
2	演習	音響機材入門		
3	演習	振付制作		
4	演習	振付制作		
5	演習	振付制作		
6	演習	振付制作		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	音響機材を生かした演出		
9	演習	音響機材を生かした演出		
10	演習	振付制作		
11	演習	振付制作		
12	演習	振付制作		
13	演習	振付制作		
14	演習	本番及び試験		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ダンスプロジェクト	
授業名	ダンスプロジェクトⅣ		担当教員名	IPPEI
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。			
授業の内容	振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。			
【実務経験】 アーティストの振付、ライブ演出、ダンサーディレクション。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	楽曲決め		
2	演習	振付制作		
3	演習	振付構成制作		
4	演習	衣裳制作		
5	演習	照明案制作		
6	演習	最終リハーサル		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	楽曲決め		
9	演習	振付制作		
10	演習	振付構成制作		
11	演習	衣裳制作		
12	演習	照明案制作		
13	演習	照明案制作		
14	演習	本番及び試験		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		スタッフワークプロジェクト		
科目名	舞台制作2	担当教員名	水戸 裕	
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>舞台のあらゆる技術と知識は、繰り返し実習する事で身に着ける事ができる事を体得する。また、プロとしてのあらゆる方法や理屈を身に着けるためには、道理を深く考える必要がある事を促す。それらを教室で行う基礎技術と理論に加え、授業内実習、校内イベント等で美術製作・進行・資料作りを繰り返し経験させる。我々スタッフの仕事は本番をやり遂げる事である。本番を体験しなければ理解できない事が数多くある。本番を体験する事は、応用力を身に着ける事になる。校内イベントを含め、数多く本番体験をする事で即戦力性を高めさせる。最後に外部ホールで行われるミュージカルは、集約されたものとなり、広い空間に適応する事を学ぶ事になる。</p>			
授業の内容	<p>・基礎実習を通して美術製作・進行・資料作りなどの知識と感覚を身に着ける</p> <p>・ミュージカル「明日への扉」の成功を最終課題とし、あらゆるイベントの本番を成功させる事を目標とする</p>			
【実務経験】	<p>吉本新喜劇やV6、KinKiKids、関ジャニ∞、ミュージカル『ピーターパン』などの舞台監督・舞台制作を手がける。</p>			
回数	演習	内容		
1	演習	舞台の基礎知識①～ガイダンス・舞台全般知識・入学式の進行と美術を確認する		
2	演習	舞台の基礎知識②～舞台機構・舞台名称などの舞台知識		
3	演習	舞台の基礎知識③～寸法、図面、タイムスケジュール		
4	演習	舞台の基礎知識④～木工製作、木材知識、工具知識		
5	演習	基礎製作 I ①～学園祭対応製作、木工作品製作		
6	演習	基礎製作 I ②～学園祭対応製作、木工作品製作		
7	演習	基礎製作 I ③～学園祭対応製作、木工作品製作		
8	演習	図面製作基礎知識①～製図とは何か、手書き製作する		
9	演習	図面製作基礎知識②～CADソフト実習		
10	演習	図面製作基礎知識③～CADソフト実習		
11	演習	「明日への扉」対応実習①～全体概要、解説		
12	演習	「明日への扉」対応実習②～図面、スケジュール、進行表		
13	演習	「明日への扉」対応実習③～小道具製作、進行確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	・継続して繰り返し行う事が大切である。デザインや製作の課題を提出する事で次の時間につなげる事ができる			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験	実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	美術製作も進行も、本番を迎える事が大事。本番が成功するために学ぶ。成功する達成感は素晴らしい。そのためにコツコツと同じ事を何度でも繰り返し作業して身につけよう。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			アクティングプロジェクト	
授業名	アクティングプロジェクトⅢ		担当教員名	中西 邦子(リコモーション)
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。			
授業の内容	スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。			
【実務経験】 大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属俳優。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	エチュードづくり		
2	演習	エチュードづくり		
3	演習	エチュードづくり		
4	演習	エチュードづくり		
5	演習	エチュードづくり		
6	演習	本番		
7	演習	エチュードづくり		
8	演習	エチュードづくり		
9	演習	エチュードづくり		
10	演習	エチュードづくり		
11	演習	エチュードづくり		
12	演習	エチュードづくり		
13	演習	演出		
14	演習	本番		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			アクティングプロジェクト	
授業名	アクティングプロジェクトIV		担当教員名	中西 邦子(リコモーション)
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。			
授業の内容	スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。			
【実務経験】 大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属俳優。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	エチュードづくり		
2	演習	エチュードづくり		
3	演習	エチュードづくり		
4	演習	エチュードづくり		
5	演習	エチュードづくり		
6	演習	本番		
7	演習	エチュードづくり		
8	演習	エチュードづくり		
9	演習	エチュードづくり		
10	演習	エチュードづくり		
11	演習	エチュードづくり		
12	演習	エチュードづくり		
13	演習	演出		
14	演習	本番		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			ヴォーカルプロジェクト	
授業名	ヴォーカルプロジェクトⅢ		担当教員名	峯口弥生
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>1：ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する2：学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力 の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3：それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4：外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5：全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る</p>			
授業の内容	<p>実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ（編曲）されたボーカル＋コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるよう促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。</p>			
【実務経験】	<p>1993年 大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、1996年 大阪音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了後、オペラ、コンサートなど数々の演奏活動を経て、2001年よりヴォイストレーナーとして活動。多くのヴォーカリストを輩出している。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会＋今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡しアンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
15	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
準備学習 時間外学習	<p>自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン（楽譜音源管理）衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか</p>			
成績評価	<p>1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)</p>	実技試験100%		
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	<p>[子供のためのソルフェージュ]（音楽之友社）全巻 [全訳コールユーブンゲン]（全音楽譜出版社）1～3巻 ※いずれも抜粋使用</p>		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			ヴォーカルプロジェクト	
授業名	ヴォーカルプロジェクトⅣ		担当教員名	峯口弥生
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>1：ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する2：学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力 の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3：それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4：外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5：全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る</p>			
授業の内容	<p>実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ（編曲）されたボーカル＋コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるよう促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。</p>			
【実務経験】				
1993年 大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、1996年 大阪音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了後、オペラ、コンサートなど数々の演奏活動を経て、2001年よりヴォイストレーナーとして活動。多くのヴォーカリストを輩出している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会＋今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡しアンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
15	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
準備学習 時間外学習	自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン（楽譜音源管理）衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	[子供のためのソルフェージュ]（音楽之友社）全巻 [全訳コールユーブンゲン]（全音楽譜出版社）1～3巻 ※いずれも抜粋使用		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		キャリア教育		
科目名	キャリア教育Ⅲ	担当教員名	照井 裕章	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。			
授業の内容	グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。			
【実務経験】	ユニバーサルスタジオジャパンでエンターティナーとして実務。バックダンサー・ダンスインストラクターを経験。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	イベント制作演習①		
2	演習	イベント制作演習②		
3	演習	イベント制作演習③		
4	演習	イベント制作演習④		
5	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス④		
6	演習	オーディション対策		
7	演習	イベント現場のルール		
8	演習	契約書について		
9	演習	ITリテラシー(メール)		
10	演習	ITリテラシー(時事問題)		
11	演習	目標シート作成②		
12	演習	マナー講座(保険、税金、確定申告)		
13	演習	著作権について		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	課題 (100%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		キャリア教育		
科目名	キャリア教育Ⅳ	担当教員名	照井 裕章	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。</p>			
授業の内容	<p>グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。</p>			
【実務経験】	ユニバーサルスタジオジャパンでエンターティナーとして実務。バックダンサー・ダンスインストラクターを経験。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑤		
2	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑥		
3	演習	定量的目的と定性的目的について		
4	演習	社会人基礎力⑦発信力		
5	演習	社会人基礎力⑧傾聴力		
6	演習	社会人基礎力⑨柔軟性		
7	演習	社会人基礎力⑩状況把握力		
8	演習	社会人基礎力⑪規律力		
9	演習	社会人基礎力⑫ストレスコントロール力		
10	演習	文書作成について、5W1Hについて		
11	演習	イベント制作演習⑤		
12	演習	イベント制作演習⑥		
13	演習	イベント制作演習⑦		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	課題 (100%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				